

# 令和4年度 事務事業評価 相対評価内容確認・入力シート (評価対象：令和3年度)

## 1 事業名称等

性質種別 **事務事業** 市の裁量

整理番号 12

施策名	1-1-1	市民とともに作る市政の推進	部局	企画政策部		
事業名	2351	みどりのはがき・市民会議関連事業	課	広報広聴課		
補助金等名				区分		
終期設定	なし	開始年度	昭和47	年度	終了年度	年度
根拠法令等						

## 2 事業概要

事業概要	開始時若しくは直近の見直し時点	現在	5年後		
背景	事業を実施することとなった理由			記載不要	
	価値観や生活様式の変化・多様化に伴い、行政サービスに対する市民ニーズも複雑・多様化する中、市民意見を把握する制度を設ける必要がある。	価値観や生活様式の変化・多様化に伴い、行政サービスに対する市民ニーズも複雑・多様化する中、市民意見を把握する制度を設ける必要がある。			
	目的=めざす価値				記載不要
	市政に対し市民が意見や提案しやすい環境を整えることにより、市民意見を的確に把握し、市政に反映させる。	市政に対し市民が意見や提案しやすい環境を整えることにより、市民意見を的確に把握し、市政に反映させる。			
	目標=めざす状況				記載不要
市民意見を反映した施策を行う。	市民の声が市政に反映されていると思う市民の割合（市民アンケート指標）25%以上				
内容	事業の具体的な内容			記載不要	
	「みどりのこだま」事業として、市民から意見等を聴く11事業を創設。	みどりのテーブルやみどりのはがき・パブリックコメント等を通じて、市政に対する市民ニーズを把握し、市政への反映を図る。			
備考	(電子メールで随時受付)				

## 3 予算等 (単位：千円)

年度		H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
経費の推移	予算	2,238	2,094	2,000	2,099	1,952		記載不要
	賃金 (R2は報酬)	1,185	1,214	1,159	1,132	1,112		
	需用費	126	158	124	149	109		
	使用料及び賃借料	726	661	656	651	565		
	特定財源							
	国・県支出金							
その他								
一般財源	2,238	2,094	2,000	2,099	1,952			
決算(R3は見込)	1,819	1,668	1,598	1,617				
事業の始期・終期	→	→	→	→				
算出根拠								
予算の増減、予算決算の著しい乖離等の説明								

#### 4 成果・効果

指標		単位	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
活動	市民会議等開催数	回	目標 20	20	20	20	20	20	20
		実績	18	20	9	16			
成果・効果	市民アンケート指標「市民の声が市政に反映されている」市民が思う割合の上昇	%	目標 -	25	25	25	25	25	25
		実績	19	18.4	18.7	21			

#### 成果・効果指標の説明

本事業は、広く市民の声を聴き市政に反映させることを目指すものであることから、総合計画市民アンケート結果指標「市民の声が市政に反映されている」に対する市民が思う割合の上昇を評価とする。

達成状況の評価	評価の理由
B	コロナ禍により人数制限などの制約はあったが、「ながの未来トーク」は6回、「ようこそ市長室へ」は10回開催し、地域住民と直接意見交換を行った。また「みどりのはがき」は郵送及び電子メールで1,264件（前年1,106件）の投書があり、「カトウさんへの提案ポスト」は所定ポスト及び電子メールで373件（前年258件）の投書があった。いずれも、担当課等において市政への反映の検討が行われた。
概ね目標どおり	

#### 5 SDGsの視点からの評価

- 1 = この評価項目では見直しをすべき
- 2 = この評価項目ではどちらかというで見直しをすべき
- 3 = この評価項目ではどちらかというで見直しをすべきではない
- 4 = この評価項目では見直しをすべきではない

社会	貧困	1	-	環境	水・衛生	6	-	経済	経済成長と雇用	8	-
	飢餓	2	-		エネルギー	7	-		インフラ、産業化、イノベーション	9	-
	保健	3	-		気候変動	13	-		持続可能な都市	11	-
	教育	4	-		海洋資源	14	-		持続可能な生産と消費	12	-
	ジェンダー	5	-		陸上資源	15	-	全体	実施手段	17	4
	不平等	10	-					該当するゴールの平均評価点		4.00	
	平和	16	4								

事前評価の考え方	-	部局の考え方	-
----------	---	--------	---

#### 6 成果・効果及び検証を踏まえた問題・令和3年度以降の方針

問題	短期	市民会議は、女性や若年層の参加者を増やす工夫が必要である。	中長期	建設的な意見や将来に向けた提案等を出してもらう工夫が必要である。
	第三者の指摘等	長野市議会から、市民会議への幅広い年代、特に若者や女性の参加を促し、活発な意見交換を行えるよう内容の充実を図ることが要望されている。住民自治協議会アンケートにおいて、ながの未来トークは事務負担が大きいとの意見がある。		
部局の方針	今後の方針	方針の理由		
	見直して継続	市民の市政参画を進めるに当たり、市長が市民の声を直接聴く必要があることから、事業を継続していくが、自治協の事務負担軽減を図るとともに市政に対する建設的な提案や女性・若年層の出席者が増えるよう、事業の実施方法を検討する必要があるため。		
	具体的な取組内容（いつまでに、何をするのか）			
市民会議に女性や若年層が出席しやすいよう平日夜間又は土曜日の開催及び託児所の設置を引き続き行うとともに、市民会議以外にも移動市長室等の機会を設け女性や若年層と市長との意見交換を行う。また開催準備等の事務負担軽減を図るため、未来トークの開催時間を「2時間程度」から「1時間半～2時間程度」と見直した。				